

学校教育計画（令和6年度～令和9年度）

学校名	横浜栄高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	---------	------------------	---------

1 学校のミッション

- 全日制の課程単位制普通科を設置する高校として、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえ、年次ごとに共通に学ぶ科目を設けつつも、多様な選択科目から生徒が選択履修することができる単位制の利点を生かしながら、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 地域や国際社会に広く貢献でき、社会の変化に柔軟に対応できる行動力あふれる人材の育成をめざし、生徒一人ひとりが学び高め合うことができるよう、学校の教育活動全体を通じて、主体的に学ぶ姿勢を育む教育活動を展開する。
- 生徒が自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養うことをめざした授業を実践することにより、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた不断の授業改善を行う等、教育活動の充実に取り組む。

2 学校教育目標

- 自ら学び考える姿勢を養い、自己実現に向けての学力の育成を図る。
- 一人ひとりの学習目的に沿った教育内容を提供し、学ぶ意欲や興味・関心を育む。
- 豊かな感性や社会性を身につけ、思いやりの心を養う。
- 自立と創造の精神を育て、自己を律する態度を育む。
- 心身を鍛え、逞しく、しなやかな人間を育成する。

3 計画策定時点での課題

- 小・中学校をコロナ禍で過ごした生徒の入学に合わせて、社会的自立に向けた支援の充実を図っていく必要がある。
- 新しい時代の教育に対応していくために、ICT機器やインフラの整備を進めていく必要がある。
- 校舎竣工から40年が経ち、施設などの老朽化が目立ってきている。生徒が安全安心な学校生活を送れるように施設や設備の更新を図る必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領の目標に照らしたよりよい教育課程を編成する。 ○「自ら未来を切り拓く人材」の育成に向けた継続的で一貫した意識付け・動機付けを実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の希望進路の実現に向けた講座編成や時間割編成を工夫し、履修計画の指導充実を図る ○プログラミング教育や総合的な探究の時間を中心に論理的思考力、課題解決能力、コミュニケーション能力等を醸成する。
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な生徒の状況を把握し、個々に対応した支援体制を構築する。 ○学校行事等を通じて生徒が主体的に取り組む態度を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教育相談コーディネーターを中心としたケース会議の充実など、チーム学校としての機能を活性化する。 ○リーダーシップを育成し、生徒会活動の活性化を図る。
3	進路指導・支援	<ul style="list-style-type: none"> ○自らの進路を主体的に切り開いていくため個に応じたキャリア観を育成し、進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○段階に応じた適切な情報提供を行うことにより、意識付け・動機付けを重視した進路指導を行う。
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の社会参画の意欲向上に努め、地域等との連携・協働による教育活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内外の人的資源を活用し、校内の活動の充実とともに、地域社会に貢献する活動体制を整備する。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ○教育環境を整備し、より快適な学校づくりを進める。 ○職員の働き方改革を実現する学校管理体制を追求する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設や設備を更新し、安全安心に過ごせる環境を整える。 ○ICT機器を活用し、業務の効率化を図る。